



遣伯使見聞録



Filhos adoráveis (ステキな子どもたち)

同じような授業を何度もしていると「このクラスはやりやすいな」「このクラスは難しいな」って感じていました。でもそれは違いました。最近はとてもやりやすいし、子どもたちも生き生きと活動し、どんどんいい発言をしてくれます。それは自分が慣れてきたのであって、「やりやすい子、難しい子なんていない」ということに気づきました。子どもたちは、こちらが一生懸命授業をすれば、どの子どもちゃんと応えてくれます。自分の考えを臆することなく言えます。黒板の字を一生懸命メモしています。授業後近づいてきて、感想や質問をしてくれます。そんなステキな子どもたちと授業ができていて幸せです。



11月5日(月)

ILDA CAMPANO SANTINI 校 ⇔ 栄小学校



11月6日(火)

JAYME CANET 校 ⇔ 新川小学校



11月6日(火)

SANTA TERSINHA 校 ⇔ 植田小学校



11月7日(水)

SANTOS DOUMONT 校 ⇔ 二川小学校



ズルい ~ナッツコラム~

理科の授業で使った風船をナッツとじゃんけんして勝った子にあげてるんだよ。「じゃんけん、ポン！」負けた子と引き分けの子は座るんだけど、半分以上の子はズルをして立っている。俺は気づいているよ！担任の先生は「あなたは、グーを出したでしょ！だから負けよ、座りなさい！」とズルさせないように必死…。実はナッツも気づいているけど、ニコニコしてじゃんけんを続けてる。ズルい子許してもいいの、ナッツ！？ (ナッツの腕時計より)

